学校番号	3015

令和４年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	地理Ｂ	単位数	4	年次	3
使用教科書	新詳地理Ｂ(帝国書院)　標準高等地図(帝国書院)						
副教材等	新詳地理Ｂノート(帝国書院) 新詳地理資料 COMPLETE2022(帝国書院)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グローバル化が進む現代社会において、環境問題や経済格差など地球的課題の解決への考察をするためには、地理的事象を理解していないと前には進みません。知的な興味や関心を積極的に持って、誠実に、そして楽しく地理を学んで行きましょう！

２　学習の到達目標

現代世界の諸課題と解決への地理的アプローチが出来、自らの頭と手と足を使って、総括的に考えることが出来ることを到達目標とします。そのためには地理の応用的知識の習得、さらに分からない点について自ら調べ、常に深く考察できる広い視野を養います。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の地理的事象に対する関心と課題意識を高め。それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本の人々、そして世界市民としての責任をは果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画動など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や応用的な追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	さまざまな地図と地理的技能、現代世界の系統地理的考察、現代世界の地理的考察に対する深い関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	様々な地理的事象を多面的・多角的に広く考察し、その過程や結果を実に適切に表現している。	地理情報に関する諸資料を幅広く多くの観点から収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	地理的事象について各時代の人々の世界観や地図の有用性などを深く理解し、その知識を十分に身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	様々な地図と地理的技能	・地理情報と地図 ・地図の活用と地域調査	○	○	○	○	a:地理情報と地図に対する関心と問題意識を高め、それを意欲的に追究し、捕らえようとしている。 b:地理情報と地図に関する諸資料を習得し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 c:地図の活用と地域調査について、生活圏の地域的特色や地図を活用した地域調査の方法などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 d:地域調査の方法を理解しその知識をもつ。	レポート 定期テスト(中間・期末) ノート提出 ワーク(問題集)提出
二学期	現代世界の系統地理的考察	・自然環境 ・資源・産業 ・人口・都市・村落 ・生活文化・民族・宗教	○	○	○	○	b:世界の自然環境について、分布や人間生活との関わりなどを系統地理的に考察し環境問題を大観させ、その過程や結果を適切に表現している。 a:世界の資源、産業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究している。 c:世界の人口、都市、村落に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:世界の生活文化、民族・宗教について分布などを民族、領土問題や、系統地理的に捉える視点や知識を持っている。	レポート 定期テスト(中間・期末) ノート提出 ワーク(問題集)提出

三学期	現代世界の地誌的考察	・現代世界の地域区分 ・現代世界の諸地域 ・現代世界と日本	○	○	○	○	c:現代世界の地域区分に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:現代世界の諸地域について、それらの地域に見られる地誌的特色や地球的課題や、地誌的に考察する方法を理解し、その知識を身に付けている。 a:現代世界における日本の国土に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し捉えようとしている。 b:さらにその解決の方向性や将来の国土のあり方などを公正に判断できる。	レポート 定期テスト(学年末) ノート提出 ワーク(問題集)提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。